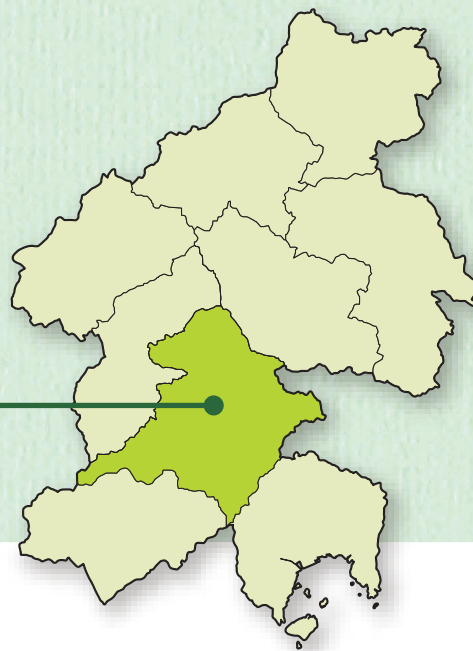


1 西条地域



1 地域の概要

西条地域は、東広島市の中央部に位置し、国分寺が置かれるなど古くから安芸地域の中心地で、西国街道の四日市（現在の西条駅南口周辺）は、江戸時代に宿場町として栄えました。明治期には、米作が盛んな西条盆地の特性を活かし、山陽鉄道の開通を契機として日本酒が盛んに醸造され、今日では灘（神戸市・西宮市）・伏見（京都市）とともに三大銘醸地と称されています。また、本市のまちづくりの起点となった賀茂学園都市建設、産業基盤の拡大をもたらした広島中央テクノポリス建設の中核となる地域であり、広島大学や広島中央サイエンスパーク※¹の建設をはじめ、ブルーパールや下見学生街などの整備により、国際学術研究都市を象徴する機能や施設の集積が進み、本市の活力を牽引する地域となっています。

2 まちづくりにおける現状と課題

市制施行直後の昭和50（1975）年には30,101人であった人口が急増し、西条地域の人口は、現在、約88,500人となっています。人口の増加が続く中、5,400人を超える外国人が生活するなど、国際化が進展する地域となっており、相互理解の取組みや多文化共生に向けた支援・環境づくりが進められています。近年では、西条駅における自由通路の整備、東広島芸術文化ホールくららや美術館の整備など、都市としての機能の向上が続いています。また、市と広島大学が一体となってまちづくりに取り組むTown&Gown構想※²が始まっており、広島大学スマートシティ共創コンソーシアム※³などを通じて、大学や民間企業の知見・技術を活用したまちづくりの取組みが進んでいます。

一方、市の顔となる拠点としての性質を持ちながら、本地域においては魅力的な雇用の場が少なく、若年世代が流出していることや、大学から駅及び市街地等を結ぶ交通ネットワークや、医療提供体制の維持・強化、都市化の進展に伴う保育の供給量の不足、交通渋滞、雨水排水に係る課題等の顕在化、地域コミュニティの希薄化なども課題となっています。

※¹ 広島中央サイエンスパーク：産学協同研究のための広島テクノプラザやひろしま産学共同研究拠点、独立行政法人酒類総合研究所をはじめ、民間の研究施設が建設され、試験・研究機能の集積が進む業務団地。

※² Town&Gown構想：タウン（市）とガウン（大学）が一体となってまちづくりに取り組む構想。自然豊かな東広島市に、大学を中心とした新しい技術を取り入れることで、世界中から多様な企業や人材が集まり、平和で、環境にもやさしい、持続可能なまちをつくることを目指す。

※³ 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム：持続可能な未来のビジョンを共有する東広島市と広島大学が包括的、日常的、継続的、組織的な関係を構築の上、東広島市の行政資源と広島大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す東広島市・広島大学Town&Gown構想の実現に向けて、設置した組織。

3 まちづくりビジョン

(1) 将来像

新たなテクノロジーによる次代の創造と
学術・研究・国際化を先導するまち

(2) 主要な施策の方向性

本地域では、市全体の成長を牽引していくとともに、経済的な豊かさと暮らしやすさにつながる定住環境の充実を両立させ、地域の中だけでなく、対外的にも魅力が伝わるよう、まちづくりに取り組んでいく必要があります。

また、大学と共に取り組むTown&Gownを中心に、民間企業と共創し、新たな価値の創出や国際色豊かな魅力ある都市拠点※4の形成など次世代学園都市構想を推進するとともに、地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な雇用の創出や起業の支援、高度医療や産科・小児科も含めた医療提供体制の強化、子育て・教育環境の充実、大屋根広場の整備など魅力ある中心市街地空間の創出、環境と調和した魅力ある居住環境の整備、交流の創造と質の高い暮らしを支える交通基盤の構築と新たな技術の活用等による交通需要マネジメント、今後さらに増加する外国人市民のための生活環境等の整備や多文化共生の促進などにより、都市としての拠点性を向上させていく中で、この地域から次々とイノベーション※5が起こり、内外に幅広く波及していくような、国際学術研究都市の象徴となる施策が必要です。



※4 都市拠点：本市の中核を担う広域的な都市の核となる拠点。

※5 イノベーション：経済発展の最も主導的な要因。「新結合」「新機軸」。新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新。

基本計画に掲げる施策とともに本地域で推進していく主な施策

仕事づくり

項目

施策の方向性

産業イノベーション^{※1}の創出

- 大学、研究機関等の集積の活用とともに、企業におけるAI^{※2}/IoT^{※3}の導入支援等により、産業イノベーションの創出を図ります。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- 優良農地を活かした都市近郊型農業を推進するとともに、農業企業の誘致を図ります。
- 道の駅を中心とした地域産品の魅力向上を図ります。
- 産学官連携等による特産品の振興を図ります。

地域資源を活かした観光の振興

- 日本酒のまちとして、西条酒蔵通りを中心に魅力ある観光地づくりを推進します。
- 酒まつりをはじめとする観光イベントや、魅力ある芸術・文化・スポーツイベント、マルシェ等の実施により、中心市街地におけるにぎわいを創出します。



東広島イノベーションラボ
ミライノ⁺



日本酒

暮らしづくり

項目

施策の方向性

暮らしを支える拠点地区の充実

- 西条駅周辺に多様な都市機能を集積させ、中心市街地の活性化を推進するとともに、コンパクトで機能的な市街地の形成を図ります。
- 下水道等の基盤整備を含む市街地整備事業等により、拠点地区ごとに良好な住環境を形成するとともに、移住・定住の促進に向けた土地利用規制のあり方について検討します。
- レクリエーション及び憩いの場となる東広島運動公園等の整備を推進します。

安全で円滑な生活交通の充実

- 身近な交通道路網となる都市計画道路等の整備を推進します。
- 歩道や自転車道を含め、道路のバリアフリー化を推進し、安全・安心な移動空間の形成を推進します。

多文化共生と国際化の推進

- 留学生、研究者、技能実習生等の外国人市民の生活環境の充実に努めるとともに、多様な言語・文化等の違いを超えて活動を支援します。



中心市街地



東広島運動公園

※1 イノベーション：経済発展の最も主導的な要因。「新結合」「新機軸」。新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新。

※2 AI: Artificial Intelligence の略。人工的につくられた人間のような知能、ないしはそれをつくる技術。

※3 IoT: Internet of Things の略。モノのインターネット化。様々な「モノ(物)」がインターネットに接続され、情報を交換することにより相互に制御することが可能となる仕組み。

人づくり

項目

施策の方向性

乳幼児期における教育・保育の充実

- 乳幼児教育等の子育て支援環境の充実を図ります。

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- 教育の質を高め「生きる力」を育むため、特色ある教育活動の推進、教育環境づくりを進めます。

市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり

- 生涯学び、活躍できる環境として、学習活動の充実、芸術文化活動の活性化、地域単位のスポーツの普及を進めます。
- 大学や試験研究機関等との連携の充実を図ります。
- 西条酒蔵通り、安芸国分寺や三ツ城古墳など郷土の歴史の保存と活用を推進します。



安芸国分寺

活力づくり

項目

施策の方向性

学術研究機能の発揮による都市活力の創出

- 国際的研究拠点の形成に向けた取組みを進め、次世代学園都市構想の実現を目指します。
- 広島大学とのTown&Gown構想※4を推進し、地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行うとともに、産学官民連携によるまちづくりを進めます。

多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり

- 青少年・学生の力を活かし、交流・連携事業を推進します。
- 創業・起業と連動した移住・定住の促進とともに、交流人口の拡大を図ります。
- 県立賀茂高等学校・県立西条農業高等学校と地域との連携による、地域の活性化の支援を図ります。

都市成長基盤の強化・充実

- 西条駅前、ブルーパール沿い、西条酒蔵通りを核とし、大屋根広場の整備など、中心市街地にふさわしい都市機能の充実を図るとともに、「歩いて楽しめる」魅力ある都市空間を形成します。

交通ネットワークの強化

- 国道2号西条バイパス、国道375号の4車線化等の整備促進など、交通ネットワークの充実を図ります。
- JR、バス等の利用を促進し、サービスの維持・活性化を図ります。
- 大学や市街地等から広島空港、東広島駅へのアクセス性向上を図ります。
- ブルーパールにバス高速輸送システムを基軸とした高機能・多機能な交通システムを整備することで、都市の中心にふさわしい交通体系を構築し、活力のある地域づくりに貢献します。

環境に配慮した社会システムの構築

- 広島大学周辺を脱炭素先行地域とし、再エネ電力省エネ設備を導入し、2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロにします。



広島大学フェニックス国際センター
ミライクリエ



自動運転・隊列走行BRT導入検討

※4 Town&Gown構想:タウン(市)とガウン(大学)が一体となってまちづくりに取り組む構想。自然豊かな東広島市に、大学を中心とした新しい技術を取り入れることで、世界中から多様な企業や人材が集まり、平和で、環境にもやさしい、持続可能なまちをつくることを目指す。

安心づくり

項目

施策の方向性

災害に強い地域づくりの推進

- 黒瀬川などの河川改修・河川維持の促進や、ソフト対策等の防災・減災対策を推進します。
- 都市型災害（浸水対策等）への対策を推進します。

総合的な医療体制の確立

- 高度専門医療の維持・強化、救急医療や産科・小児科医療体制の充実に努めます。

健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現

- 健康維持や介護予防のための通いの場や地域サロンの充実に努めます。

共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現

- 地域において、気軽な交流の場、障がいの有無や年齢等にかかわらず、全ての市民が集える場づくりを進めます。

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

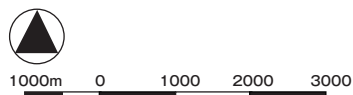
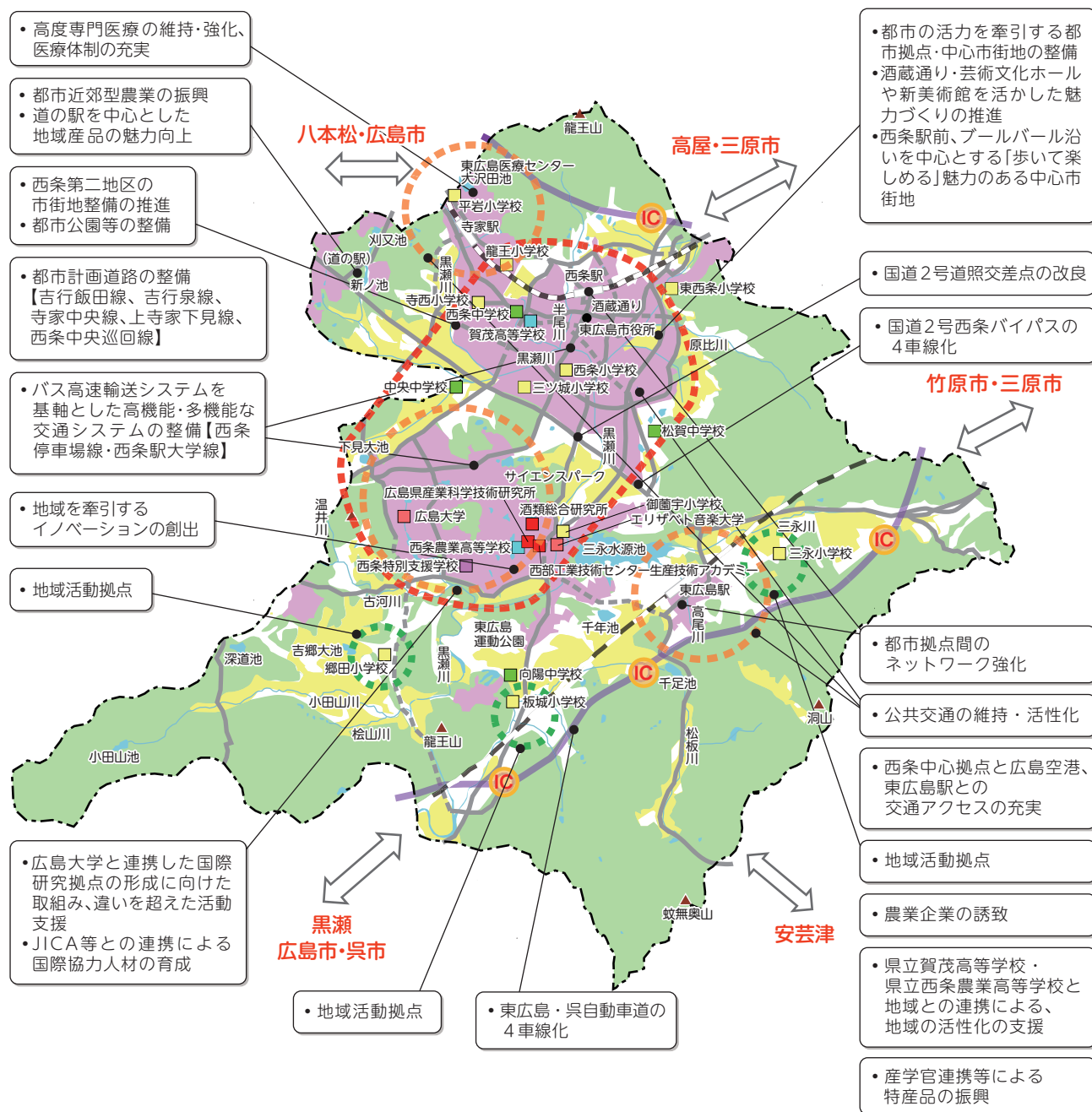
- 保育施設を計画的に整備し、地域のニーズに応じた保育サービスを提供します。
- 子育て支援拠点において、相談支援などのサービスの充実に努めます。



東広島医療センター



(3) 構想図



拠点地区	
	都市拠点
	特定機能拠点
	地域活動拠点

凡例

	山林		小学校
	農用地区域		中学校
	市街化区域、用途地域		高等学校
	主な山		大学
	主な河川		特別支援学校
	主な池等		公的研究機関
	インターチェンジ		
	高規格道路		
	主な道路(破線は計画区間)		
	鉄道		

※計画区間は、具体的なルート、位置等を限定するものではありません。